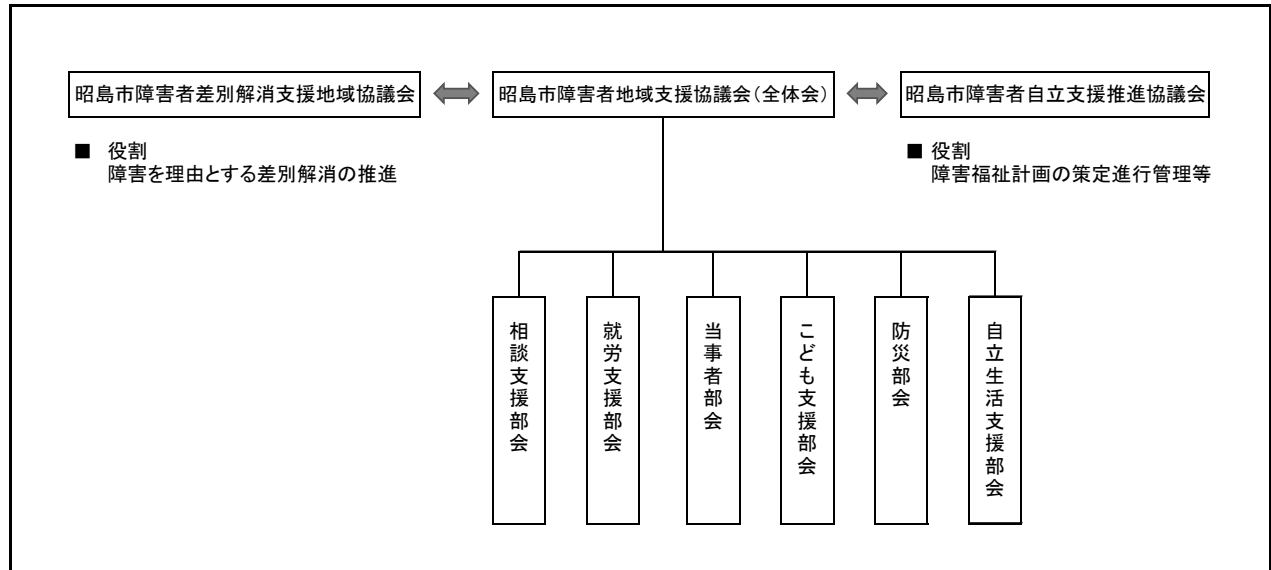


昭島市

1 地域自立支援協議会の基本事項

- (1) 名称 昭島市障害者地域支援協議会
 (2) ホームページURL 未開設
 (3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門 部会等	その都度異なる
-----	------	-----------	---------

具体的な内容

専門部会ごとに、開催方法が異なる。

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門 部会等	その都度異なる
-----	-------------	-----------	---------

具体的な内容

専門部会ごとに、開催時間が異なる。

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
1	委員長	三原 恭明	昭島市聴覚障害者協会	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期
2	副委員長	渡辺 おりえ		障害福祉サービス等事業者		長期
3	副委員長	太田 紋何		障害福祉サービス等事業者		3年
4		大西 保正		医療関係者		長期
5		小倉 敬生	都立青峰学園	教育関係機関		1年
6		長谷川 京子	特定非営利活動法人チャレンジ ステーションクジラ	障害福祉サービス等事業者		6年
7		大野 渉	きさらぎの会	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験年数
8		出口 泰子	昭島市肢体不自由児者父母の会	家族・関係団体		長期
9		吉澤 孝行	特定非営利活動法人自立生活センター・昭島	相談支援事業者		長期
10		加藤 治男	社会福祉法人滝乃川学園	障害福祉サービス等事業者		長期
11		能登部 文江	民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員		3年
12		田中 彰		障害福祉サービス等事業者		3年
13		阿部 裕之	株式会社レオパレス・スマイル	雇用関係機関		3年
14		宮寄 明美	支援を必要とする子の親の会	家族・関係団体		3年
15		村上 将則	社会福祉法人昭島市社会福祉協議会	社会福祉協議会		3年

(2) 委員構成

種 別 \ 全体会・部会名	全体会	相談支援部会	就労支援部会	当事者部会	こども支援部会
学識経験者	0				
医療関係者	1	1	1		
保健所	0				
教育関係機関	1		2		
雇用関係機関	1		2		1
企業	0		1		
障害当事者（ピアサポーター含む）	2	1		5	
家族・関係団体	2			3	5
身体・知的障害者相談員	0				
相談支援事業者	1	14			1
障害福祉サービス等事業者	5	1	3		1
社会福祉協議会	1	1			1
法曹関係者	0				
民生委員・児童委員	1				
地域住民	0				
行政職員（区市町村）	0	2	1		
行政職員（都）	0				
その他	0	2			
計	15	22	10	8	9

種 別 \ 全体会・部会名	防災部会	自立生活支援部会
学識経験者		
医療関係者		1
保健所		
教育関係機関		4
雇用関係機関		
企業		
障害当事者（ピアサポーター含む）	5	
家族・関係団体	2	
身体・知的障害者相談員		
相談支援事業者		3
障害福祉サービス等事業者		11
社会福祉協議会		1
法曹関係者		
民生委員・児童委員		
地域住民		
行政職員（区市町村）		
行政職員（都）		
その他		
計	7	20

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

基幹相談支援センターの設置に向けて、昭島市の実情の整理や設置に向けた課題の整理を行った。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

市内に不足している社会資源について共通認識を持ち、特に課題となっている人材確保に向けた対応策を協議した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

地域生活支援拠点等の整備について、整備に向けた課題を整理し、協議を行った。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

次期障害福祉計画策定の進捗状況の報告を受け、また、昭島市障害者自立支援推進協議会との懇談会において、障害福祉計画に対する意見を協議した。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

協議会の開催回数や開催時期、開催時間等、協議する議題の進捗状況等に応じて、意見を募りながら臨機応変に進めている。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

市が現在抱えている様々な問題を顕在化し、共通認識を持つよう協議している。

② 情報共有・情報発信

事務局をはじめ、委員それぞれが持っている情報を協議会で発信し、共有した上で関係機関に周知を図っている

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

市内の社会資源の現状を整理し、不足している社会資源の解決について協議する。

⑤ 地域課題の整理

地域で抱えている課題を整理し、共通認識を図っている。

⑥ 課題解決に向けての検討

様々な課題について、必要に応じてプロジェクトを組み、緊急度に応じてどのように取り組んでいくか協議している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害者福祉計画の進捗状況について報告し、地域で課題となっている案件に関し、どのように計画に盛り込んでいくか調整を図っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

構成員又は構成員を取り巻く組織の中で各々が疑問に思っていることを自由に討議し、疑問点や不明点の解消に努めている。

⑩ 権利擁護・虐待防止

権利擁護や虐待に関する事案が発生した際には、迅速に対応できるような運営を行っている。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

⑤ 個別の困難事例を取り上げたことはない。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

② 社会資源の開発及び改善

基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の設置について、設置に向けた課題や必要な機能について協議を行った。

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

福祉人材確保のために、プロジェクトを組み、イベントを開催した。

⑥ 緊急・災害等対応

緊急時や災害時にどのように支援をすることが可能か、協議を行っている。

⑦ 医療的ケア

令和5年度に、昭島市医療的ケア児支援関係者会議（地域支援協議会とは別の会議体）を新たに開催し、医療的ケア児支援について意見交換を行った。今後、医療的ケア児支援について、当該会議との意見交換や情報共有が必要と想定している。

⑩ 就労支援

障害のある学生に向けて市役所内で職場体験実習を企画し、就労支援を図っている。（令和5年度はコロナの影響により、中止となった。）また、就労を継続するうえでの課題等についても情報共有を図っている。

⑬ その他（当事者と市との意見交換）

新たに市民が利用可能な施設を建設しており、障害がある方がその施設を利用しやすくなるよう、当事者と市との意見交換を行った。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑥ 緊急・災害等対応

緊急時や災害時には、避難誘導や必要な物資の配送等、マンパワーが必要になると考える。また、避難所等については地域によって近隣市の避難所の方が便利なケースも考えられるため、広域又は東京都全域で対応していくことが望ましい。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	活性化した。	専門部会等	活性化した。
-----	--------	-------	--------

具体的な内容

・ 基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の設置に向けた課題の整理や必要な機能の協議。 ・ 当事者と市との意見交換。

イ 活性化したと評価する理由

・ 基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の設置に向けた課題の整理や必要な機能の協議 従前より協議してきた昭島市で必要な機能をイメージ図に落とし込むことができた。今後は、この機能も含め、設置に向けた課題の整理を行う。 ・ 当事者と市との意見交換 新たに建設予定の市の施設において、障害がある方が利用しやすくなるよう、担当部署と意見交換ができた。
